

モニタリングサイト 1000 里地調査

2013～2017 年度 一般サイト追加募集要項

環境省自然環境局生物多様性センター
公益財団法人 日本自然保護協会

モニタリングサイト 1000 は、日本の様々な生態系の動態を 100 年の長期にわたりモニタリングすることによりその変化をいち早く捉え、生態系及び生物多様性の保全施策につなげることを目的とした国（環境省）の事業です。

様々な生態系タイプ（高山帯、森林・草原、里地里山*、湖沼・湿地、砂浜、沿岸域、サンゴ礁、小島嶼）ごとに調査の内容や調査地点が定められ、現在全国約 1000 箇所のモニタリングサイトにおいて調査が行われています。このうち里地分野については、これまで日本自然保護協会が事務局をつとめています。

現在、里地分野では全国 193 箇所で市民の方々のご協力によるボランティアの調査が行われています（図 1）。調査には毎年 1,300 名以上の方々に参加していただいております、2011 年までに約 67 万件のデータが集まっています。その結果、全国的な里地里山の状況も捉えられつつあります。また、各調査地では市民自身が調査結果を現場の保全作業に活かしたり、調査報告会を開催したりするなどの活動も広がっています。

今回、5 年間を一区切りとして調査を行っているサイト（一般サイト）が 2012 年度末に期限を終え、一部のサイトは今期で調査を終了するため、新たに 2013 年度から 5 年間の調査に参加していただく一般サイトを下記の要領で追加募集いたします。

環境省及び事務局としては、調査成果を適切な保全施策に繋げるという本事業の趣旨に基づき、得られた調査成果は積極的に里地里山の保全のために発信・活用したいと考えております。本事業の趣旨にご賛同いただき里地里山の保全にご協力いただける方々の参加をお待ちしております。

*里地里山とは、水路やため池、二次林や田畑、二次草原など、人間と自然の関わりが作り出した景観からなる生態系のことをいいます。



I 募集対象

1. 調査実施主体

ある特定地域の里地里山において、「モニタリングサイト 1000 里地調査 調査マニュアル」（以下「調査マニュアル」という）に定められた方法で調査をボランティアで実施していただける

ループまたは個人を募集します。

2. 応募資格

応募者は、次のような条件を満たすことが必要です。

- ①特定地域の里地里山で自然環境の調査や保全活動を実施しているグループまたは個人（官／民は問わず、グループの場合は大学研究室、研究機関、公益法人、地方自治体、企業などに属する自主的グループや任意団体等を含みます。NPO 法人としての登録の有無も問いません）。
- ②9つの調査項目のうち最低一つの項目の調査を5年間継続して実施できる体制または状況が整っていること。

II 調査の概要

1. 調査項目

里地調査では、多様で複雑な環境を含み、人間活動の影響を大きく受けやすいという特徴をもつことから下記の9項目の調査を定めています。調査実施主体はこのうち最低1項目以上選択することとします。各調査マニュアルは環境省生物多様性センターのモニタリングサイト1000ウェブサイト (<http://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>) 及び事務局が運営するモニ1000里地調査ウェブサイト (<http://www.nacsj.or.jp/project/moni1000/howto.html>) に掲載されていますのでご参照ください。なお、2012年度末に一部の調査マニュアルを改訂する予定であり、来年度以降調査方法が若干変更する可能性がありますのでご留意願います。

項目名		調査手法	調査時期・頻度
植物相		調査ルート上の植物の種名を記録	毎月1回
鳥類		調査ルート上の種名・個体数を記録	繁殖期、越冬期に各2～3日
中・大型哺乳類		自動撮影カメラにより種名・撮影頻度を記録	春～秋に、毎月フィルム交換
水環境		水位・流量、水温、水色、pH、透視度を記録	毎月1回～年4回
指標種群	カヤネズミ	調査区画内の巣の有無と、環境条件を記録	初夏と秋の年2回
	カエル類	アカガエル類の卵塊数と、環境条件を記録	産卵期間中、2週に1回程度
	チョウ類	調査ルート上の種名・個体数を記録	春～秋に月2回
	ホタル類	成虫の個体数と、環境条件を記録	発生ピークまで 7～10日に1度
植生図 (人為的インパクト)		航空写真と現場踏査から調査地全体の植生を記録	5年に1回

※中・大型哺乳類調査と水環境調査は必要な機材を事務局より貸与します。

※積雪期は調査時期から除きます。

2. 調査期間

2013年4月から2018年3月までの5年間

3. 調査者となった方へのお願い

一般サイトの調査者となった場合には、調査期間中、下記の3つを守っていただけるようお願いいたします。

- ①調査実施中の事故に備えるため、保険登録用の調査員名簿の提出
- ②5年間継続した調査の実施
- ③実施した調査結果を定められた形式で期限※までにモニタリングサイト1000里地調査の事務局に提出すること

※提出期限は毎年半期に一度（1月と8月）となります。

4. データの利用及び成果のフィードバック

- ・一般サイトとして選定された場合には、環境省のモニタリングサイトとして登録され、生物多様性センターや事務局が運営する里地調査のホームページにサイトの一覧が公表されます。
- ・各サイトで得られたデータは、各サイトの調査実施主体が保全に活かすために自由に使うことができます。
- ・環境省及び事務局では、提出していただいたデータを本事業の趣旨に基づき、里地里山の保全のために行政施策や学術研究等に対して積極的に発信し活用していきます。その成果の一環として調査実施主体には里地調査のニュースレターや成果レポート等を送付いたします。
- ・調査継続の支援として調査員を対象とした調査講習会や勉強会、交流会へ自由に参加することができます。

Ⅲ 応募手続

1. 応募方法

所定の申請書に必要事項を記入のうえ、その他必要な書類とともに簡易書留郵便、宅配便、または電子メールにてご送付ください（送付先については 5. 応募・問い合わせ先 を参照）。多くの団体に参加いただけるよう、応募できる調査地は1団体1箇所までとさせていただきます。

提出いただく申請書は電子ファイルで作成したものかあるいはそれを印刷したもの、または黒色のインク・ボールペンで記入した手書きのものとしします。なお、電子メールの送信や郵送上のトラブル等で締め切り日までに送付先に書類が届かない場合には、一切の責任を負いかねますので、その点ご了承ください。

2. 提出書類

提出していただく書類は以下の通りです。申請書類を受け付けた場合、電子メールまたは葉書にて受領通知をお送りします。控えとしてお手元に申請書のコピーを1部必ず保管してください。ご提出いただいた申請書や添付資料は返却致しかねますのでご了解ください。

- ①申請書（所定様式。原則として片面印刷。）
- ②調査予定地域の範囲を記した地図（縮尺は1/25,000程度のものが望ましい）
- ③調査地の概要が分かる写真（1～数点）
- ④その他、関連する資料（団体の活動内容がわかるパンフレットや調査報告書など）

※ 郵送の場合、申請書受領通知用として、返信先の住所・氏名を明記した葉書（50円切手貼付）を一枚同封してください。

3. 調査予定地の条件

- ①陸域の二次的自然であり、造成したビオトープなど人が新たに創造した場所ではないこと。
- ②地権者や他団体との関係を考慮し、調査を実施しても問題ない場所であること。
- ③チョウ、ホタルなど特定の種を対象とした調査を選んだ場合、これらを他地域から導入または養殖個体の放流等を行っていない場所であること。
- ④調査地名、調査団体名、調査項目、調査地の場所（市町村、区まで）をウェブサイトで公表することができ、得られた調査成果を里地里山の保全施策等に活用する際には調査地の具体的な位置など必要な情報を行政等に提供できる場所であること。
- ⑤調査労力及び里地里山の環境の変化を捉えるために、調査範囲はひとまとまりの生態系（目安として30ha～100ha）であること。

4. 応募締切日

応募締め切りは2012年8月31日（金）18:30までとし、郵便の場合は当日消印有効、その他の場合必着とします。電子メールでの申請の場合は、発信時刻が18:30までとします。

なお、締め切り間近に送付・発信された申請書類については、締め切り時までに受領通知のお届けができませんので、特に郵送の場合には29日（水）までに発送されることをお勧めします。

5. 応募・問い合わせ先（申請書の請求・送付先）

お問い合わせ及び応募は、下記の連絡先までお願いします。

(公財) 日本自然保護協会 モニタリングサイト1000里地調査係 (担当：福田真由子／高川晋一) 住所：〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F TEL：03-3553-4104 FAX：03-3553-0139 ウェブサイト： http://www.nacsj.or.jp/project/moni1000/index.html メールアドレス：moni1000satochi@nacsj.or.jp
--

IV 選考と結果の連絡

1. 選考方法

ご提出いただいた応募申請書類については、募集期間終了後、応募資格を満たす全てを対象としてモニタリングサイト 1000 里地調査検討委員会において厳正かつ公平に個別選考を行い、環境省が最終決定を行います。

2. 選考基準

下記のような調査サイトを優先的に選定します。

- ①調査を継続的に実施できる体制にある。
- ②信頼のおけるデータが得られる。
- ③環境の変化を複合的に捉えられるよう複数の項目を実施できる。
- ④全国的な解析を行う上で有用なデータが得られる場所*。例えば、
 - ・里地調査の調査サイトが少ない地方
 - ・既存の調査サイトには無い環境の特徴をもっている
 - ・あまり調査が実施されていない調査項目（例えばカヤネズミ）を実施していただける。
- ⑤保全上支障の無い範囲において一般公開及び利用可能なデータが多い。
- ⑥この調査への参加によって調査予定地の保全に貢献できるか。

※全国の調査サイトの現況については、事務局が運営するモニ 1000 里地調査ウェブサイトをご覧下さい。

3. 選考結果の連絡

選考結果は、2012 年 12 月 31 日までに応募者全員に直接文書で通知します。なお、選考途中での採否のお問い合わせには応じかねますので、その点ご了承ください。

以上